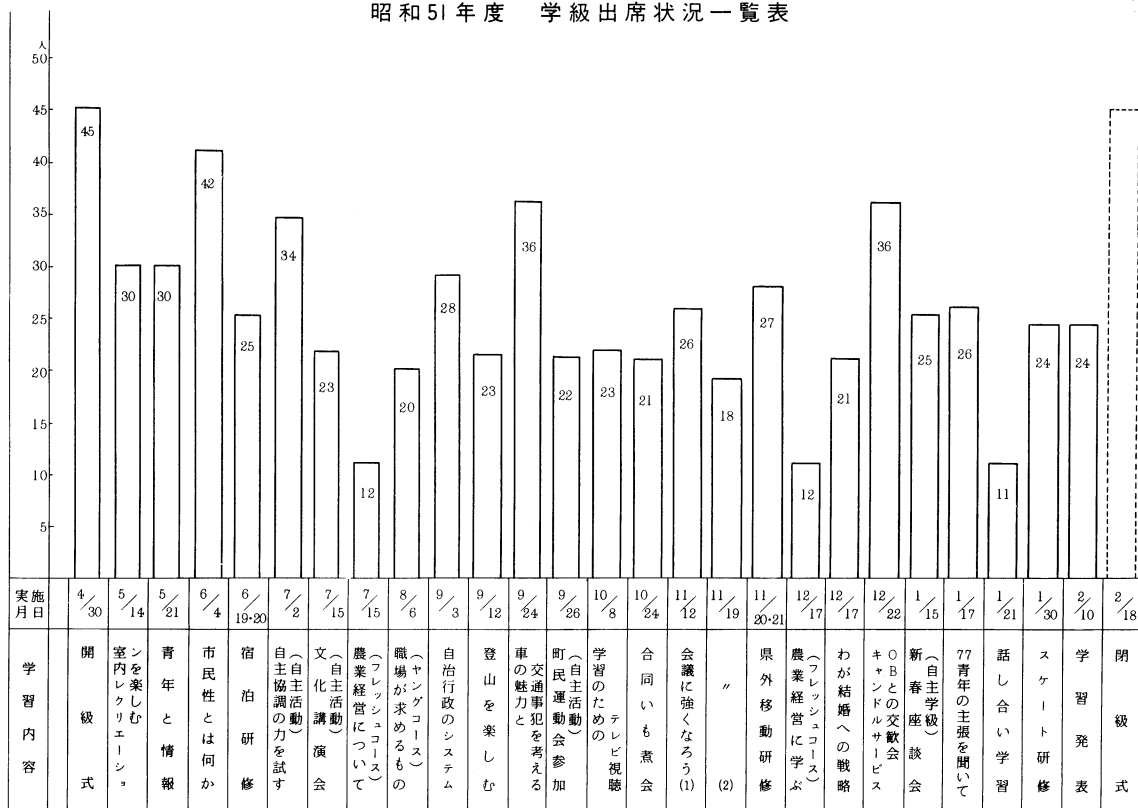


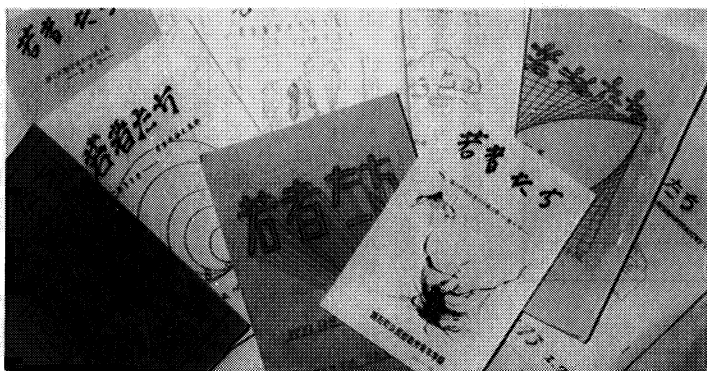
昭和51年度 学級出席状況一覽表



二、今後の課題

課題としては、職員体制の整備と学級運営の刷新充実があげられる。余暇の増大、生がい教育理念の高まりなどで、社会教育行政に対する需要は確実に強まっている。したがって、この対応策として、学級に専任できる人を確保することが、肝要であると思われる。

発行された主な文集「若者たち」



学習課題についてグループ討論



人の問題は市町村の責任と裁量に限界があり、公民館主事等の必置を前提とした、法制の改革に期待するところが大きい。

職員体制は、高学歴化した学級生の実態からも、早急な整備を必要とする。欠陥体制では、密度の高い学級運営はおろか、学級自体の改善もおぼつかないということである。